

2024.11.10南板橋教会 主日礼拝 『ごく小さな事に忠実な人生』 (ルカ伝16:1-13)
2024年11月10日 主日礼拝 降誕前 第7主日

説教題：「ごく小さな事に忠実な人生」

聖書箇所：ルカによる福音書16章1 - 13節 (140頁)

説教者：秀島牧師 招詞：讚美歌93 - 1 - 14 交読詩編：詩編98編1 - 9節 (107頁)

讚美歌：83/382 (カに満ちたる) /431 (喜ばしい声ひびかせ) /543 (キリストの前に) /27

「今週の聖句」〔ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である。〕 (ルカ伝16:10)

「牧師室の窓」 「教会へ行く朝の道花屋にてポインセチアの赤に佇 (たたず) む」

「教会の隣の家の幼児 (おさなご) と握手をすれば駆け寄る児あり」

(1)皆様、おはようございます。数日前に二十四節気の「立冬」を迎えて、季節は冬支度へと急いでいます。花屋さんで真っ赤なポインセチアの前に立ち止まり、教会への電車の窓から富士山の山頂の雪が見えるかなと楽しみが増しています。あとひと月もしますと、クリスマスが近くなってきます。

前回と前々回の2回に分けて、皆様と共に読みました、ルカ福音書15章の3つの譬え話は「見失った羊」、「無くした銀貨」そして、「放蕩息子」でありました。その3つの譬え話の共通点は「自分自身を見失っていた者を神は見捨てられない、救われる」ことにあります。迷っている羊を、見失った1枚の銀貨を、人生の苦悩の中に迷い込んでいた人を、神は忍耐強く探し、神のもとに戻されることをイエス様は譬え話によってお話しされたのです。

(2)そして、今日の16章の前半「不正な管理人の譬え」では、人生の荒海の中でクリスチャンはどの様に生きれば良いのかと言う疑問に対して、イエス様は教えておられるのです。

イエス様の弟子たちが、つまり、私たちが夫々の人生の中で、どの様にして、イエス・キリストと共にこの人生を歩むことが出来るのだろうか。そこには大きな障害物があります。それは神と富との狭間にあって自分を見失ってしまうことです。「富」とは、一般的には経済的な利益をもたらす有形、無形の財産です。しかし、富によって私たちが支配されると、私たち人間の心は歪められてしまい、主なる神への信仰と対立することになります。そのような「富」とどの様に対処すれば良いのかをイエス様は今日の譬えでお話しされています。

まずは、今日の聖書箇所が一番最後の(16章)13節を見て、問題点をはっきりとさせましょう。

〔(16:13)どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神(テオス)と富(マタス：財宝・人の所有物)とに仕えることはできない。〕 あれあれ、どこかで見かけた聖句に似ていませんか。そうです、マタイ福音書の「主の祈り」の後に書かれています。マタイ伝6章24節(新約聖書10頁)です。〔マタイ伝(6:24)「だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」〕

ここで十分に注意すべきことがあります。それは、「神と富」とが単純に対立するものではなく、或いは、どちらかのみを選ぶ、選択するということでもありません。今日のルカ伝16章の「不正な管理人の譬え話」はそのことを、イエス様は私たちにお話しされているのです。

(3)では、1節2節を見てみましょう。「一人の管理人がいた」と書かれています。「管理人」とはギリシア語で「オイコノモス」と言ひまして、管理や家計と言う意味で、2節では「会計」と翻訳されています。英語では「節約や経済」を意味するeconomyと言う言葉になっています。その管理人が「主人の財産を無駄遣いしていると、告げ口をする者があった」のです。ここには「無駄遣いしている(つまり、浪費している)」と書かれています、私腹を肥やす、自分のために使い込

んでいたのではなさそうです。併し、この「告げ口」によって、主人は「管理人」を呼びつけて言ったのです。「お前について聞いていることがある…会計報告を出しなさい。もう管理を任せておくわけにはいかない」さあ大変です。管理人は直ちに行動します。3節～7節です。〔(16:3)管理人は考えた。『どうしようか。主人はわたしから管理の仕事を取り上げようとしている。土を掘る力もないし、物乞いをするのも恥ずかしい。/(16:4)そうだ。こうしよう。管理の仕事をやめさせられても、自分を家に迎えてくれるような者たちを作ればいいのだ。』/(16:5)そこで、(管理人は)主人に借りのある者を一人一人呼んで、まず最初の人に、『わたしの主人にいくら借りがあるのか』と言った。/(16:6)『油百バトス』と言うと、(管理人は)言った。『これがあなたの証文だ。急いで、腰を掛けて、五十バトスと書き直しなさい。』/(16:7)また別の人には、『あなたは、いくら借りがあるのか』と言った。『小麦百コロス』と言うと、(管理人は)言った。『これがあなたの証文だ。八十コロスと書き直しなさい。』〕この管理人は自分自身が力仕事の転職に向いていないこと、ましてや失業で「物乞い」生活には耐えられないことを自覚していました。従って、油や小麦を貸し付けていた人達に、貸付の証文文書に書かれている数量を大幅に少ない数量に改竄させたのです。「油百バトス」約2300リットルを半分免除し、「小麦百コロス」約23千リットルを2割も免除してしまっただけです。借りていた方は大喜びです。恩を売っておけば見返りに雇い入れてくれるとの思惑があったのです。

(4)そのことを知った主人は思いもよらない感想を漏らしたのです。8節9節です。〔(16:8)主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方(抜け目のないとは、賢いと言う意味です)をほめた。この世の子らは、自分の仲間に対して、光の子らよりも賢くふるまっている。/(16:9)そこで、わたしは言うておけが、不正にまみれた富で友達を作りなさい。そうしておけば、金がなくなったとき、あなたがたは永遠の住まい(アイエスとこしえの、スネ住居)に迎え入れてもらえる。〕8節に書かれている「この世の子ら」とは神の存在を考えないで生きる人々であり、「光の子ら」とは神と共にこの世を生きる人々です。9節に書かれている「富(ギリシア語でμαθησ, 英語でmammon)」とは金銭・財宝の他に、才能と言う意味があります。従って、9節に書かれている「不正にまみれた富」とは、天に積まれている富に対して、この世における富を指しています。加えて、この世の富が悪であるのではなく、この世の富を光の子として正しく使うか、神の存在を弁えずに使用してしまうのかと言うことを言っているのです。「友達を作りなさい」の「友達」とは、ギリシア語で「フィロ」と言いまして「愛すること」や「友人」と言う意味です。「友達を作る」とは、信仰の友を作る、或いは、貧しい人々を助けると言う意味になります。この9節は11節で言葉を変えてイエス様は話されています。11節「(16:11)だから、不正にまみれた富について忠実でなければ、だれがあなたがたに本当に価値あるものを任せるだろうか。」この新共同訳聖書の「本当に価値あるもの」は聖書協会共同訳では「真実なもの」、口語訳聖書では「真の富」と翻訳されています。

(5)私は長い信徒時代をお金と数字に係わる仕事をしてきました。様々な業種の会社にお金を貸し、夫々の会社が事業を発展させ従業員の生活を守る仕事、縁の下の役割です。夫々の業種がありますので、業界のことを学ばなければなりません。鉄鋼業もあれば、紙の製紙業、石油販売業、薬の会社、デパート、鉄道、病院、学校等々、業種に応じて様々な知識を短期間に身に付けなければなりません。複雑な化学式も短期間で覚えてこそ友人となることができます。融資したお金がどの様に使われるのか、その結果がどの様に表れたのか。お金に善悪があるのではなく、お金を使う人たちの判断によって、お金の価値が現れてきます。私はお金を使う人達の判断力が適切であるのか確認してきました。また、会社を大きくして、或いは、新しく事業を起こして、株式上場を目指す人たちを応援する仕事をしてきました。

2024.11.10南板橋教会 主日礼拝 『ごく小さな事に忠実な人生』 (ルカ伝16:1-13)

(6) その様な経験から今日の聖書箇所(10節11節)が身に染みてよく理解できるのです。皆様も皆様のご経験から得心されることでしょう。「小さな事に忠実な者」ではなく「ごく小さな事に忠実な者」なのです。読んでみます。〔(16:10) ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である。〕そして、11節は逆転の発想ですね。11節は「だから」という言葉で始まります。何故「だから」なのでしょう。〔(16:11) だから、不正にまみれた富について忠実でなければ、だれがあなたがたに本当に価値あるものを任せるだろうか。〕聖書には読んで直ぐに分かる、理解しやすい箇所があります。図式的に言いますと、 $1+2=3$ という書き方があります。成程、成程と納得できる箇所です。併し、一方で、 $1+2$ が3より遥かに大きくなる、理解不可能、納得できない箇所があります。譬え話の中にも、奇跡物語にもその様な箇所が少なからずあります。だから、聖書は面白い、興味深いのです。今般の日本での新しい内閣で「地域再生・地方創生／地域経済の活性化・地方で働く機会の創出」が重要なテーマにあげられました。農林水産業の第1次産業と物造りの第2次産業、商業・運送業の第3次産業を足し算・掛け算すれば6次産業となります。「ごく小さな事に忠実な」人々を今日の聖書箇所(10節)の様に「抜け目のないやり方」(つまり、賢いやり方)で実行し、実現させるのです。その為の専門大学を作るのです。日本基督教団も北支区も伝道に工夫しなければなりません。何を工夫するのか? 今日の聖書箇所を活用することも一つの方法です。

(7) 最後に13節は何を言っているのでしょうか。そのヒントが14節に書かれています。14節は今日の聖書朗読箇所ではありませんが、重要です。2千年前のファリサイ派の人々も、私たちの現代社会でも、人間の価値を収入金額で測る時代であります。そのことは正しいことではありません。併し、間違っているとは断定できません。その判断基準が13節に書かれています。〔(16:13) あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。〕その状況の中で、「ごく小さな事に忠実な者」として、神の御言葉に生きる人生を歩んで参りたいと思います。

・・・お祈りします。

主なるキリストの神様。季節は秋が深くなり、もう暫くしますと、待降節、そして、クリスマスを迎えます。日々の生活に追われていますが、聖書の御言葉によって養われていることに感謝いたします。不正な管理人(オウノス)があなたに赦されたように、私たちの罪をお許してください。ごく小さな事に忠実で、互いに許し合い、心豊かに人生を歩むことができますようにお導き下さい。

戦争が起きている地に住む人々に、自然災害で困難の中にある人々に、生活の中で困っている人々に、平安と慰めがありますように。教会に連なる一人ひとりに、地域で生活している、働いている一人ひとりに、み恵みがありますように。

イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

〔新共同訳ルカによる福音書(16:1)イエスは、弟子たちにも次のように言われた。「ある金持ちに一人の管理人(オウノス)がいた。この男が主人の財産を無駄遣いしていると、告げ口をする者があった。/(16:2)そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『お前について聞いていることがあるが、どうなのか。会計(管理の務めの：オウモニア)の報告を出しなさい。もう管理を任せておくわけにはいかない。』/(16:3)管理人は考えた。『どうしようか。主人はわたしから管理の仕事を取り上げようとしている。土を掘る力もないし、物乞いをするのも恥ずかしい。/(16:4)そうだ。こうしよう。管理の仕事をやめさせられても、自分を家に迎えてくれるような者たちを作ればいいのだ。』/(16:5)そこで、主人に借りのある者を一人一人呼んで、まず最初の人に、『わたしの主人にいくら借りがあるのか』と言った。/(16:6)『油百バトス』と言うと、言った。『これがあなたの証文だ。急いで、腰を掛けて、五十バトスと書き直しなさい。』/(16:7)また別の人には、『あ

2024.11.10南板橋教会 主日礼拝 『ごく小さな事に忠実な人生』 (ルカ伝6:1-13)

あなたは、いくら借りがあるのか』と言った。『小麦百コロス』と言うと、言った。『これがあなたの証文だ。八十コロスと書き直しなさい。』/(16:8)主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方【賢いやり方】をほめた。この世の子らは、自分の仲間に対して、光の子らよりも賢くふるまっている。/(16:9)そこで、わたしは言うておくが、不正にまみれた富(マツ：財宝・富・人の全所有物)で友達(フド：愛・友人)を作りなさい。そうしておけば、金がなくなったとき、あなたがたは永遠の住まいに迎え入れてもらえる。/(16:10)ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である。/(16:11)だから、不正にまみれた富について忠実でなければ、だれがあなたがたに本当に価値あるものを任せるだろうか。/(16:12)また、他人のものについて忠実でなければ、だれがあなたがたのものを与えてくれるだろうか。/(16:13)どんな召し使いも二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」/(16:14)金に執着するファリサイ派の人々が、この一部始終を聞いて、イエスをあざ笑った。/(16:15)そこで、イエスは言われた。「あなたたちは人に自分の正しさを見せびらかすが、神はあなたたちの心をご存じである。人に尊ばれるものは、神には忌み嫌われるものだ。/(16:16)律法と預言者は、ヨハネの時までである。それ以来、神の国の福音が告げ知らされ、だれもが力づくでそこに入ろうとしている。/(16:17)しかし、律法の文字の一画がなくなるよりは、天地の消えうせる方が易しい。/(16:18)妻を離縁して他の女を妻にする者はだれでも、姦通の罪を犯すことになる。離縁された女を妻にする者も姦通の罪を犯すことになる。」)